

2017年3月30日
JFE スチール株式会社
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社

インドネシアの主要なパイプ・鋼材加工メーカーへ出資

JFE スチール株式会社（以下、「JFE スチール」）と伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社（以下、「MISI」）は、インドネシアのパイプ製造・鋼材加工メーカーである SPINDO 社の発行済み株式を、それぞれ 1.48%、0.73% ずつ、合計 2.21% 共同で取得しました。

インドネシアは、ASEAN 地域で最も今後の成長が期待される鋼材市場の一つです。SPINDO 社は同国における拡販とシェア拡大、および鋼材の安定調達を、JFE スチールと MISI は、成長地域における安定した鋼材販売先の確保、および JFE スチールブランド製品の拡販を目指しており、三社の考えが一致したことから、今回の株式取得に至りました。

SPINDO 社は、インドネシア最大規模のパイプ・鋼材加工メーカーで、1971 年に設立されました。設立当初から現在まで継続的に、MISI を通じて JFE スチールの熱延鋼板を供給しています。現在 SPINDO 社は、自動二輪車部品や土木建築分野向けなどに、パイプおよび薄板加工製品を年間 35 万トン製造・販売していますが、さらなる拡販とシェア拡大に向けて工場拡張や設備増設を進めています。

今回の出資により、JFE スチールおよび MISI は、SPINDO 社との連携を更に強化し、インドネシア市場において、より一層のマーケット開拓、および需要捕捉に注力してまいります。

【SPINDO 社 概要】

社名	PT. Steel Pipe Industry Indonesia, Tbk.
所在地	インドネシア・スラバヤ
設立	1971 年
社長	Ibnu Susanto 氏
資本金	IDR 718,599 百万(2015 年 12 月 31 日時点)
売上高	IDR3,259,041 百万(2016 年 12 月 31 日)
社員数	約 1,250 人
事業内容	主に自動二輪車部品・土木建築・鋼製家具・オイルガス輸送用途向けのパイプ、およびの薄板加工製品の製造・販売
製造拠点	東ジャワ（スラバヤおよびその近郊）に 5 工場、西ジャワ（ジャカルタ）に 1 工場
主要設備	ERW パイプライン（28 基）、Spiral パイプライン（4 基）、TIG 溶接ライン（5 基）。溶融亜鉛メッキライン（4 基）、高周波加熱装置（1 基）、スリット加工ライン（10 基）、レベラーライン（4 基）
販売拠点	スラバヤ・ジャカルタ・バンドン・シドアルジョ・サマリンダ・マカッサル（予定）に営業倉庫保有

【写真】 SPINDO 社 シドアルジョ新工場外観



以上

本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。

JFE スチール(株) 総務部広報室 TEL03(3597)3166

伊藤忠丸紅鉄鋼(株)経営企画部広報チーム TEL03(5204)3342